

演 題 「西太后統治下の清朝と近代世界」

講 師 大坪 慶之 氏 三重大学 教育学部 教授

19世紀後半の中国では、清朝の統治のもと、西太后という一人の女性が政治を左右していました。当時の東アジア世界は、西洋諸国と対峙する中で大きな変動期を迎えます。例えば日本では、幕末・維新を経て明治政府により近代国家が建設されていきます。一方の中国は、17世紀以来続く清朝が、近代世界のなかで存続をはかるために自ら変革を試みます。そのような時代の中国の政治は、どのようなものだったのでしょうか。「稀代の悪女」とのイメージもある西太后ですが、47年もの長きにわたり実権を維持した例は、世界的にも珍しいものです。その治世について、清朝の統治構造、朝廷内の政治の動きからみていきましょう。

日 時 令和5年9月16日(土) 13:30~15:00

会 場 津リージョンプラザ 1F 中央保健センター待合ホール  
津市西丸之内 23-1



主 催 津市民文化祭実行委員会  
主 管 津文化協会  
後 援 三重大学 三重ふるさと新聞社  
連絡先 TEL 090-1236-1144 (辻本 當)

※津文化協会では会員を募集しています。

当協会事務局または?『発見塾』開催時、受付までお申込み下さい。

※場所の変更、中止の場合は下記のホームページでお知らせします。

?「発見塾」(三重大学) <http://www.mie-u.ac.jp/hakugaku/hakken/index.html>

津市民文化祭 <http://www.info.city.tsu.mie.jp/www/contents/1001000011275/index.html>

※講演会会場は土足禁止になっています。履物の収納は会場入り口設置の下駄箱をご利用ください。